

キッズ・モニターアンケートの概要 「三重県産米について」

アンケートの実施結果は、以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

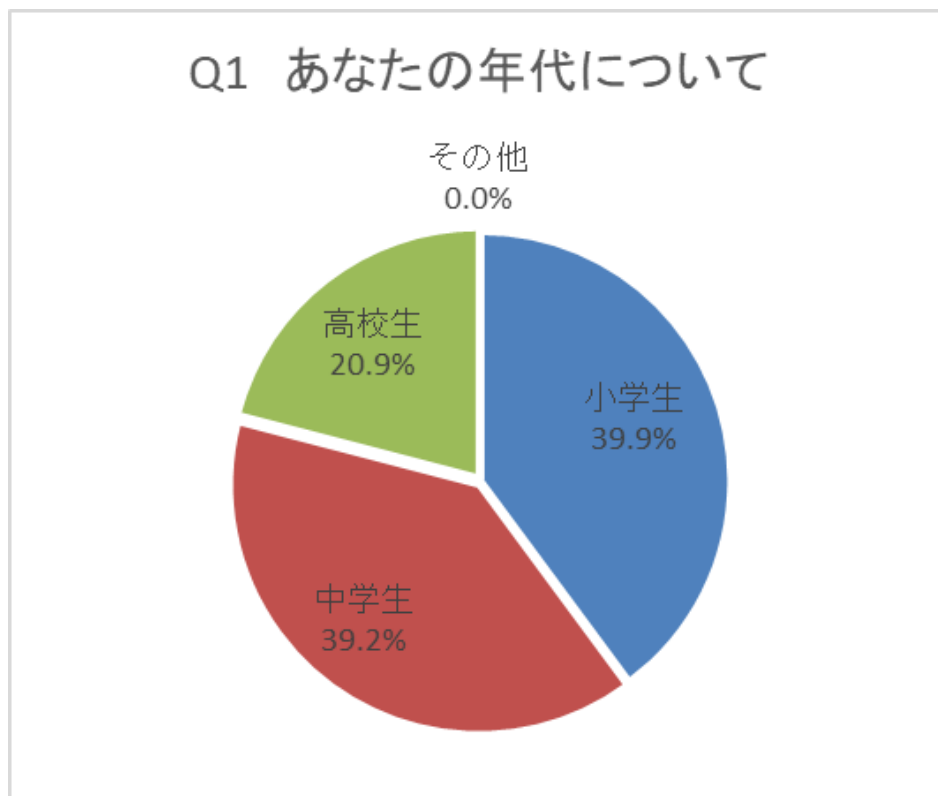
1. 実施期間 令和7年2月21日（金）～令和7年3月10日（月）
2. 回答者数 148人
3. 回答率 25.3%（148人／584人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 農林水産部 農産園芸課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

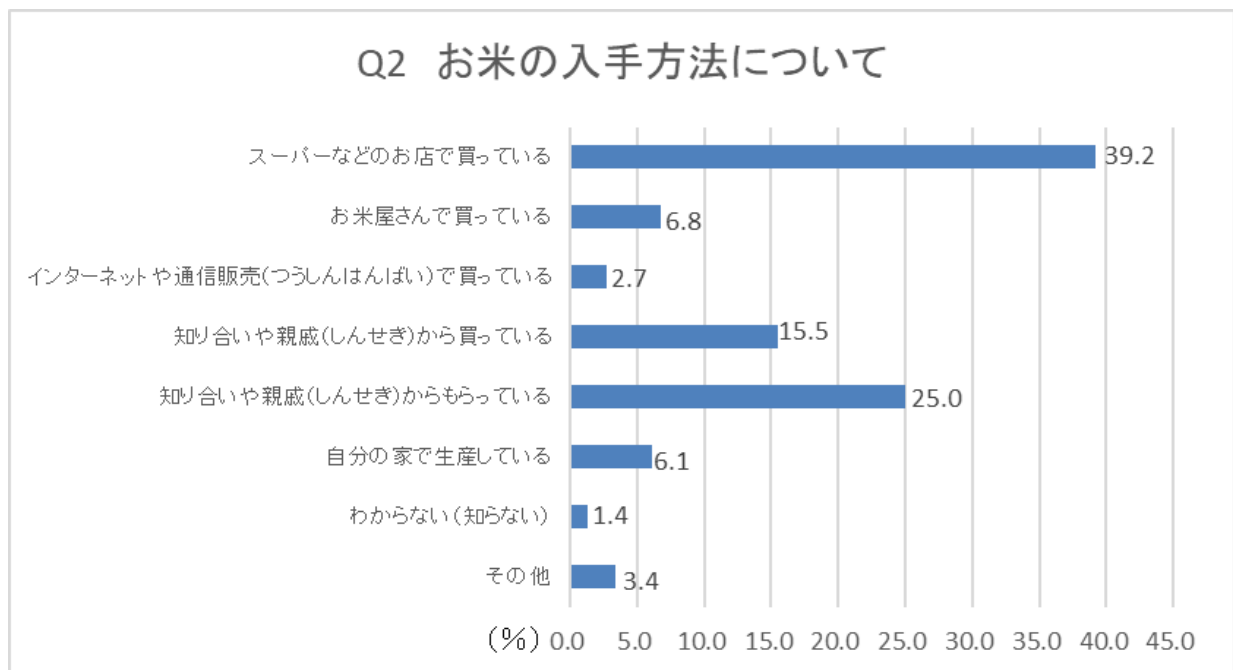
今回答えていただいた方の年代は、下のグラフのようになりました。



Q2 あなたの家では、お米をどのようにして手に入れていますか。
あてはまるもの（いくつかあてはまる場合は主なものを）を1つ選んでください。

【単一回答】

お米の入手方法については、「スーパーなどのお店で買っている」や「お米屋さんで買っている」、「インターネットや通信販売で買っている」を合わせると48.7%となりました。一方で、「知り合いや親戚から買っている」や「知り合いや親戚からもらっている」、「自分の家で生産している」を合わせると46.6%となり、比較的身近なところのお米を食べているという方も半数近くいる結果となりました。



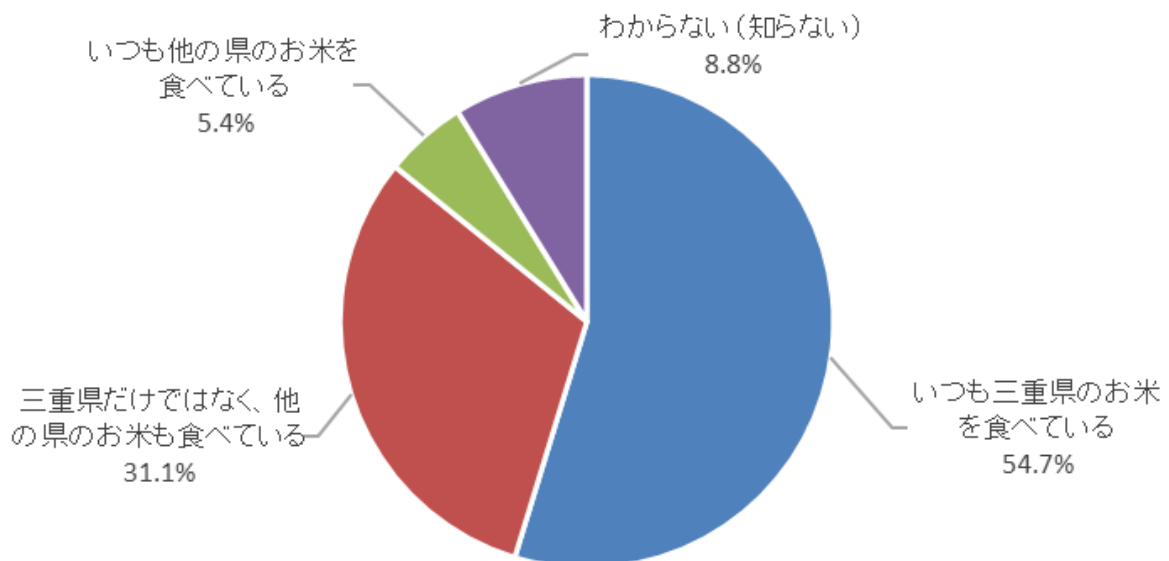
Q3 あなたの家で食べているお米は三重県で作られたお米ですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

【単一回答】

お米の産地については、「いつも三重県のお米を食べている」と回答された方が最も多く54.7%と半数程度となり、次に「三重県だけではなく、他の県のお米も食べている」が31.1%という結果になりました。8割以上の方が、三重県のお米を食べていただいていることがわかりました。

一方で、「わからない(知らない)」と回答した方も少なからずいるため、もっとお米に興味を持っていただき、三重県のお米を意識して食べてもらえるようPRしていきたいと思えます。

Q3 お米の産地について



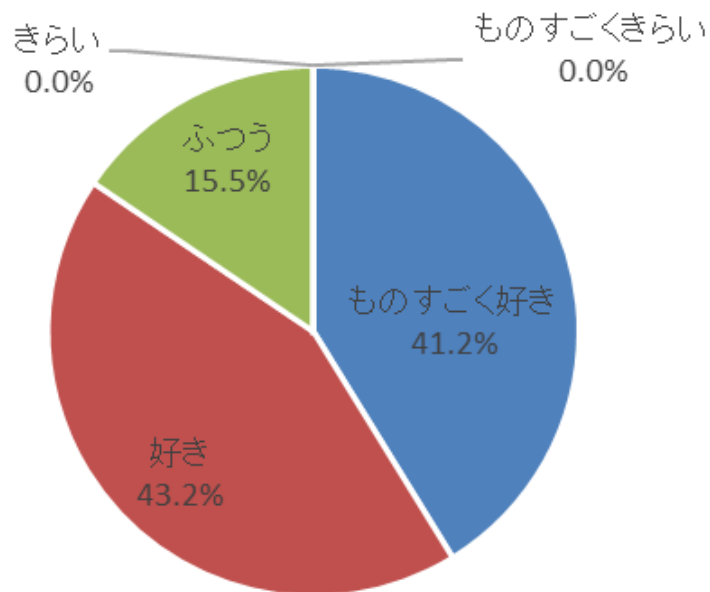
Q4 あなたは、お米（ごはん）が好きですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

【単一回答】

お米（ごはん）の好ききらいについては、「好き（ものすごく好き、好き）」と回答した方が84.4%と、多くの方はお米（ごはん）が好きという結果となりました。一方、はっきりと「お米（ごはん）がきらい（ものすごくきらい、きらい）」と回答した方はいませんでした。

このことから、お米（ごはん）は多くの方に好まれている食べ物であるといえます。

Q4 お米（ごはん）の好ききらいについて



Q5 「Q4」で、「きれい」、「ものすごくきれい」を選んだ人にお聞きします。
あなたが、お米（ごはん）をきれいな理由は何ですか。

【自由回答】

Q4で、「きれい（ものすごくきれい、きれい）」と回答した方はいませんでした。

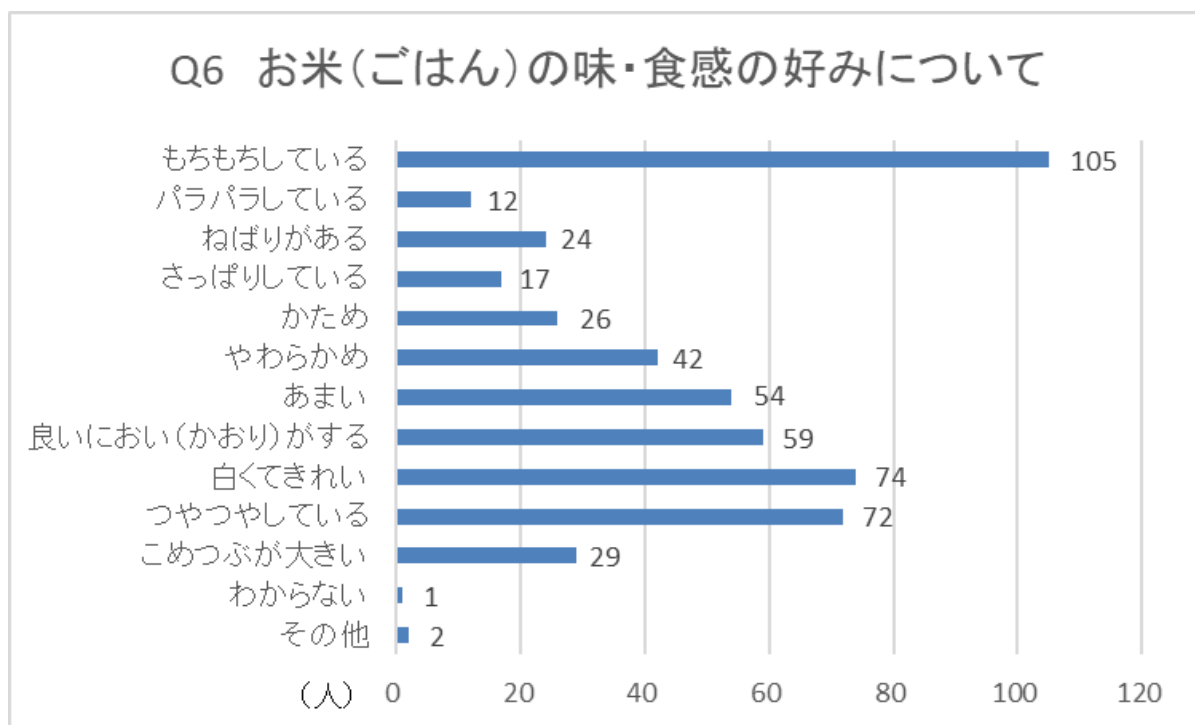
Q6 あなたは、どんな味や食感（食べたときの感じ）のお米（ごはん）が好きですか。

あてはまると思うものをすべて選んでください。

【複数回答】

好きなお米（ごはん）の味・食感について、多くの方が選んだ項目として、「もちもちしている（105人、70.9%）」、「良いにおい（かおり）がする（59人、39.9%）」、「あまい（54人、36.5%）」といった味・食感、また、見ためでは「白くてきれい（74人、50.0%）」、「つやつやしている（72人、48.6%）」となりました。

県としても、みなさんに「選ばれるお米」に求められるポイントとして参考にしながら、取組を進めていきたいと考えています。



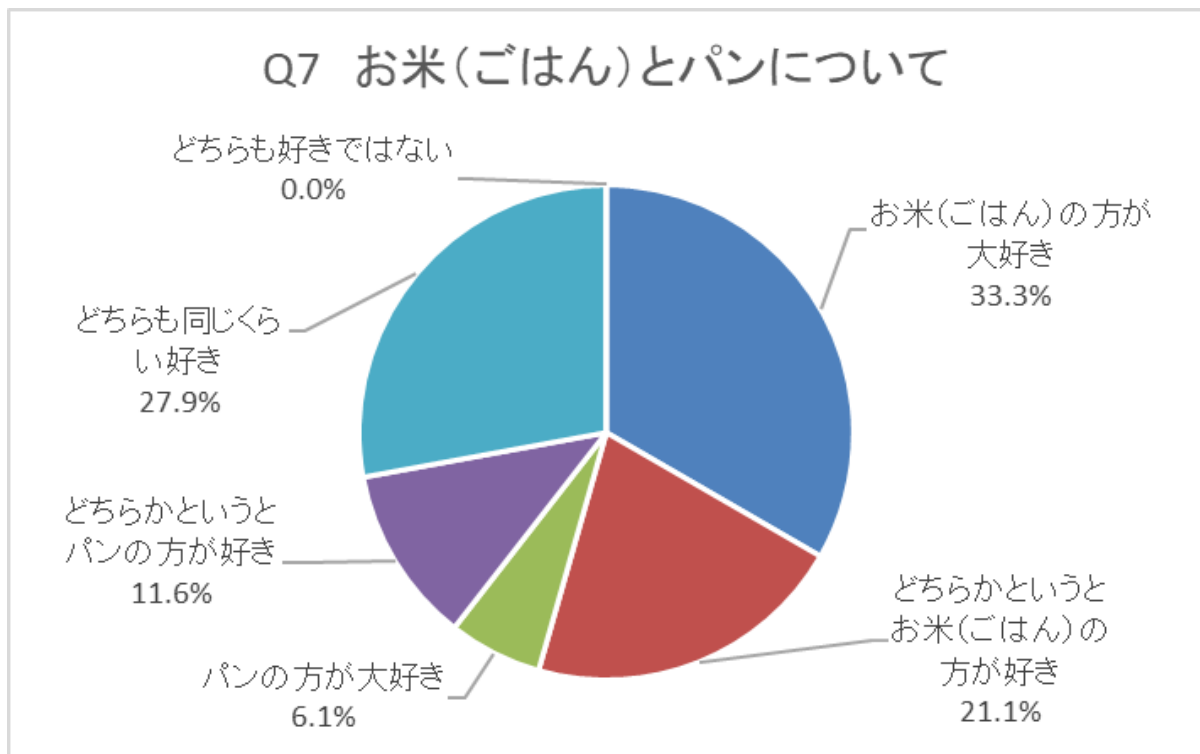
Q7 あなたは、お米（ごはん）とパンのどちらの方が好きですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

【単一回答】

お米（ごはん）とパンについては、「お米（ごはん）の方が好き（大好き、どちらかというとき好き）」と回答された方が 54.4%と、半数以上の方はお米（ごはん）の方がパンよりも好きという結果となりました。

「どちらも同じくらい好き」と回答された方も含めると 82.3%と、お米（ごはん）は多くの方に好まれている食べ物であるといえます。

一方、「パンの方が好き（大好き、どちらかというとき好き）」と回答された方は 17.7%でした。

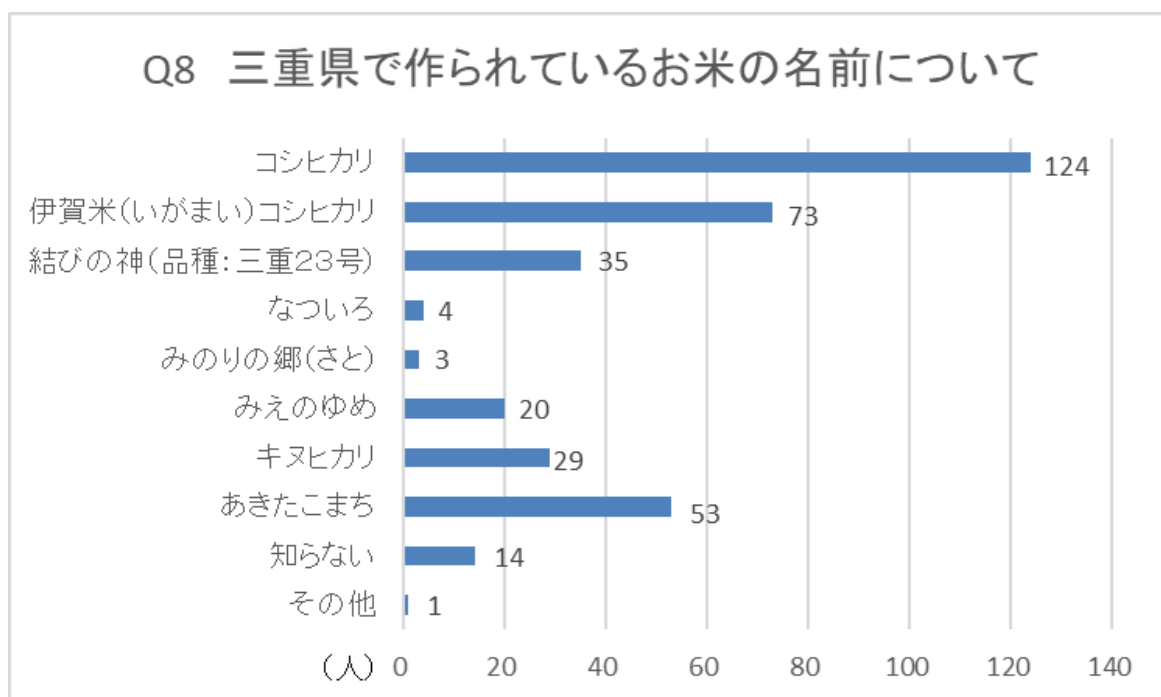


Q8 あなたは、三重県で作られているお米の名前（品種など）をどれくらい知っていますか？
知っているものをすべて選んでください。

【複数回答】

三重県で作られているお米の名前については、「コシヒカリ」は多くの方（124人、83.8%）が知っており、同じコシヒカリでも「伊賀米コシヒカリ」は、約2人に1人（73人、49.3%）の方に認識いただけていました。他にも、「あきたこまち」は（53人、35.8%）の方に認識いただけていました。

一方、県産ブランド米「結びの神（三重23号）」は（35人、23.6%）であり、昨年（17.7%）より増加していますが、まだまだ認知度が低い結果であるため、今回アンケートにお答えいただいた若い世代に対し、食育等を通じて、三重のお米をもっとPRする必要があります。



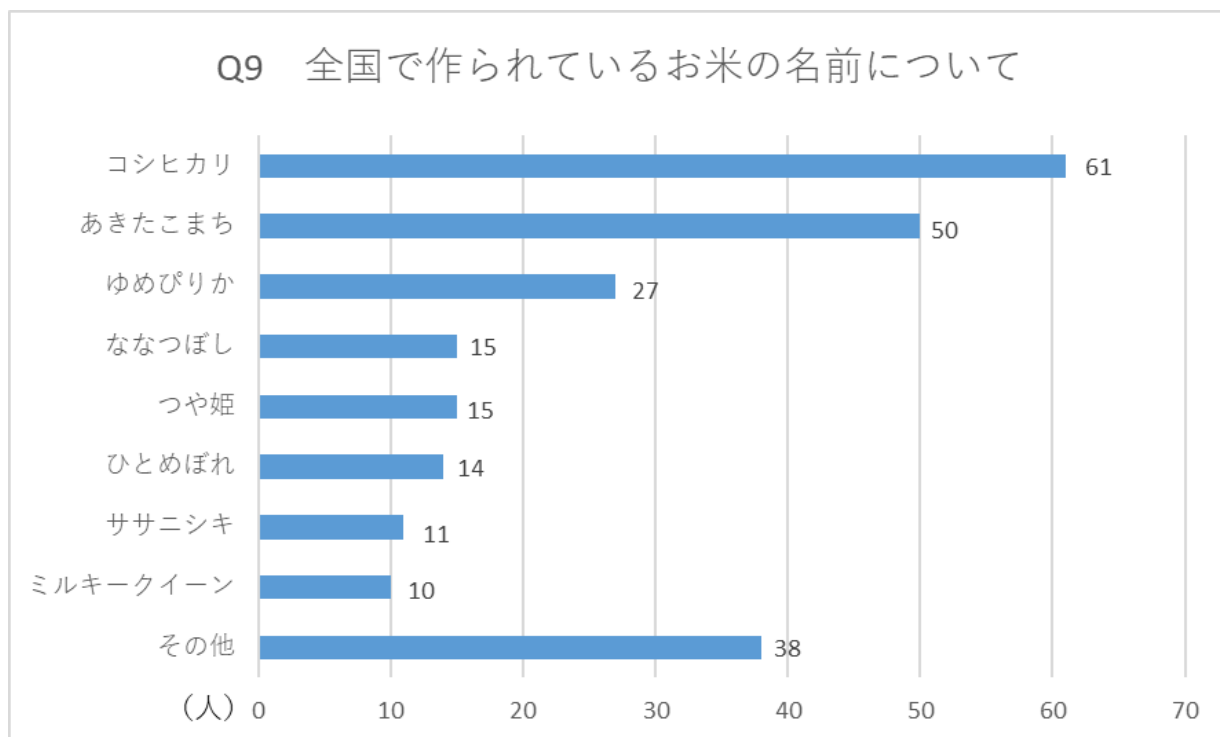
Q9 あなたは、日本全国で作られているお米の名前（品種など）をどれくらい知っていますか。知っているものをすべて書いてください。全く知らない場合は、「知らない」と書いてください。

【自由回答】

全国で作られているお米の名前について、多くの方が名前を挙げてくれたのは、令和5年産の全国のうるち米の品種別作付割合（品種ごとに作られている面積の多さ）で全国第1位の「コシヒカリ」と全国第4位の「あきたこまち」となり、それぞれ約3分の1の方から回答がありました。

次いで、「ゆめぴりか」（全国8位）、「ななつぼし」（全国第5位）及び「つや姫」（全国第12位）、「ひとめぼれ」（全国第2位）、と続きました。

このほか、複数の都道府県で作付けのある「ヒノヒカリ」（全国第3位）や「キヌヒカリ」（全国第10位）のほか、「新之助」「はれわたari」「富富富」など全国で開発された高温耐性を持つ新しい品種も数多く挙げられており、みなさんがお米に興味を持っていただいていることがわかりました。



Q10 三重県のお米をもっと知るために、どんなイベントがあったら参加したいですか？

【複数回答】

お米のことを知るためのイベントについては、「お米の食べくらべ」が38.0%と最も高く、次いで「田植体験、稲刈体験」が24.7%、「料理教室」が17.8%という結果となりました。消費者は実際に体験しながら学んで楽しめるイベントに興味を持っていただいていることがわかりました。

三重県産米の認知度向上に向けて、今後のPRイベントの参考とさせていただきます。

